記者発表資料

水資源機構

令和７年６月11日
独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所

筑後大堰（ちくごおおぜき）では洪水時の操作（ゲート全開）を実施しました

筑後大堰では、前線に伴う降雨の影響により、堰地点の河川流量が増加したことから、洪水を安全に流下させるため、令和７年６月１０日（火）１１時４０分よりゲート全開操作を実施しました。

その後、堰地点の河川流量が減少したことから、堰上流水位を一定に保ちつつ塩水遡上を防止し、水道用水等の安定取水を確保するため、６月１０日（火）２３時１０分にゲート全開操作を終了しました。

なお、今回のゲート全開操作は昭和６０年４月の運用開始より、１４８回目となります。

【雨量状況】※速報値
堰地点累計雨量：１３７㎜
（６月８日（日）１８時～６月１１日（水）８時までの累計）

【河川水位状況】※速報値
ゲート全開操作実施中における堰地点での最高水位
Ｔ.Ｐ.＋３．８７ｍ（６月１０日（火）１５時２０分）

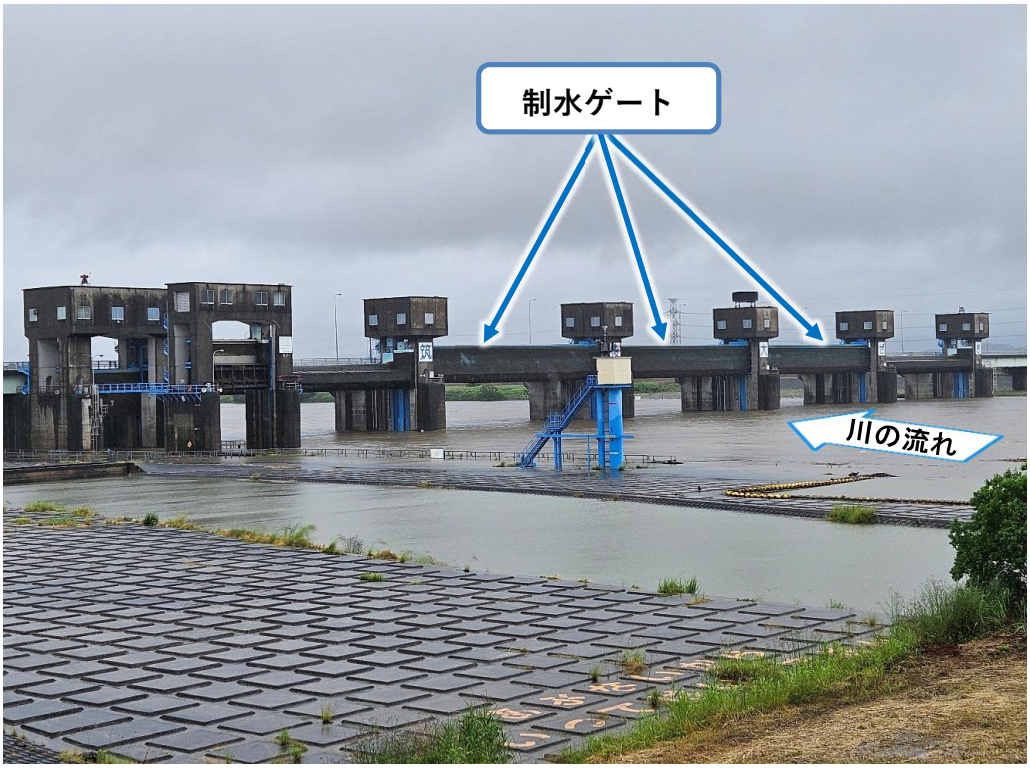
【操作状況】
全開操作開始：６月１０日（火）１１時４０分
全開操作終了：６月１０日（火）２３時１０分

※速報値については、今後変更となる場合があります。
※Ｔ.Ｐ.とは全国の標高の基準となる海水面の高さである東京湾平均海面（Tokyo Peil）を表します。

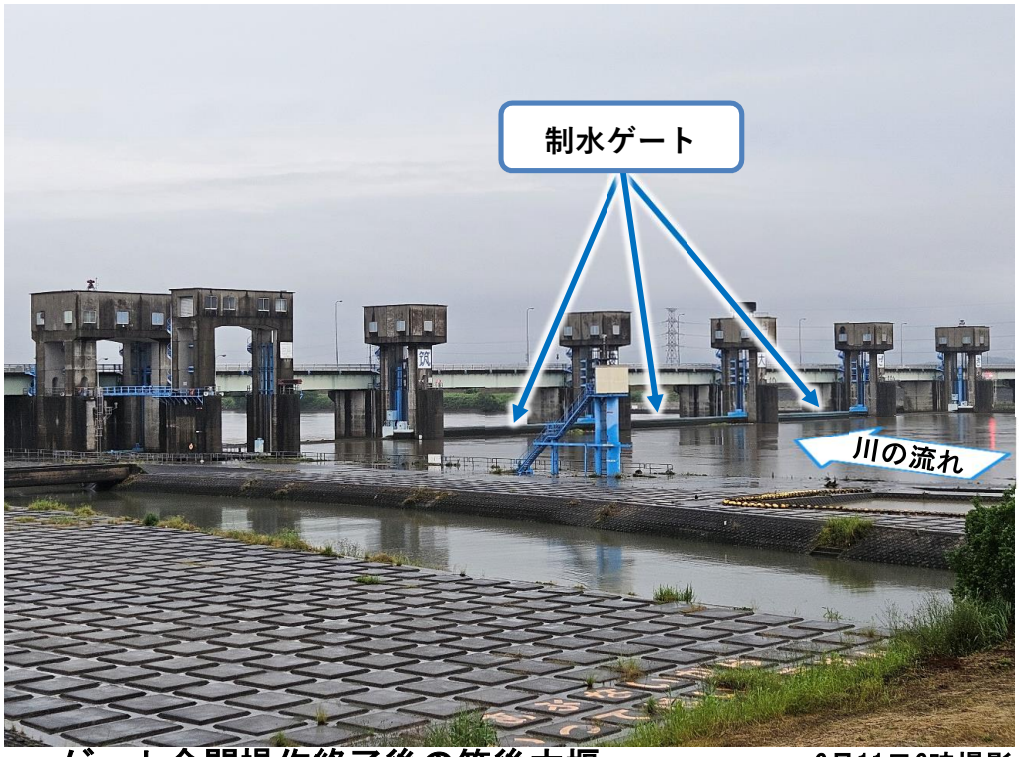
発表記者クラブ：久留米市政記者クラブ、佐賀県政記者クラブ

お問合わせ先：筑後川下流総合管理所 総務課長　横川（よこかわ）
電 話 ：０９４２（２６）４５５１（代表）
E-mail：jwa_chikugo_karyu@water.go.jp

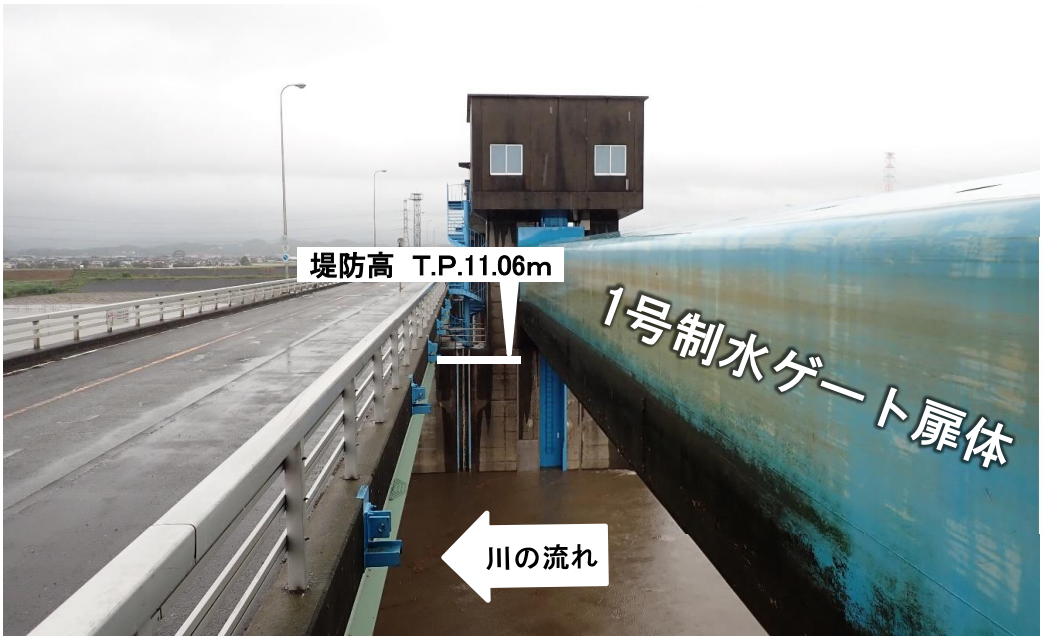
［参考］ゲート全開操作中と終了後の筑後大堰



ゲート全開操作開始後の筑後大堰　　6月10日13時撮影
（左岸上流側から筑後大堰を望む）



ゲート全開操作終了後の筑後大堰　　6月11日6時撮影
（左岸上流側から筑後大堰を望む）



ゲート全開操作開始後の筑後大堰　　6月10日14時撮影
（１号制水ゲートを左岸から右岸方向に望む）

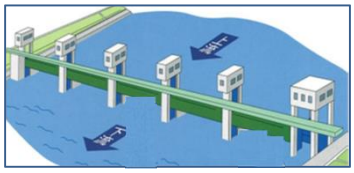
ゲート全開操作終了後の筑後大堰　　6月11日9時撮影
（１号制水ゲートを左岸から右岸方向に望む）

※ゲートを着水させ、ゲートの下から放流(アンダーフロー)しています。

参考資料

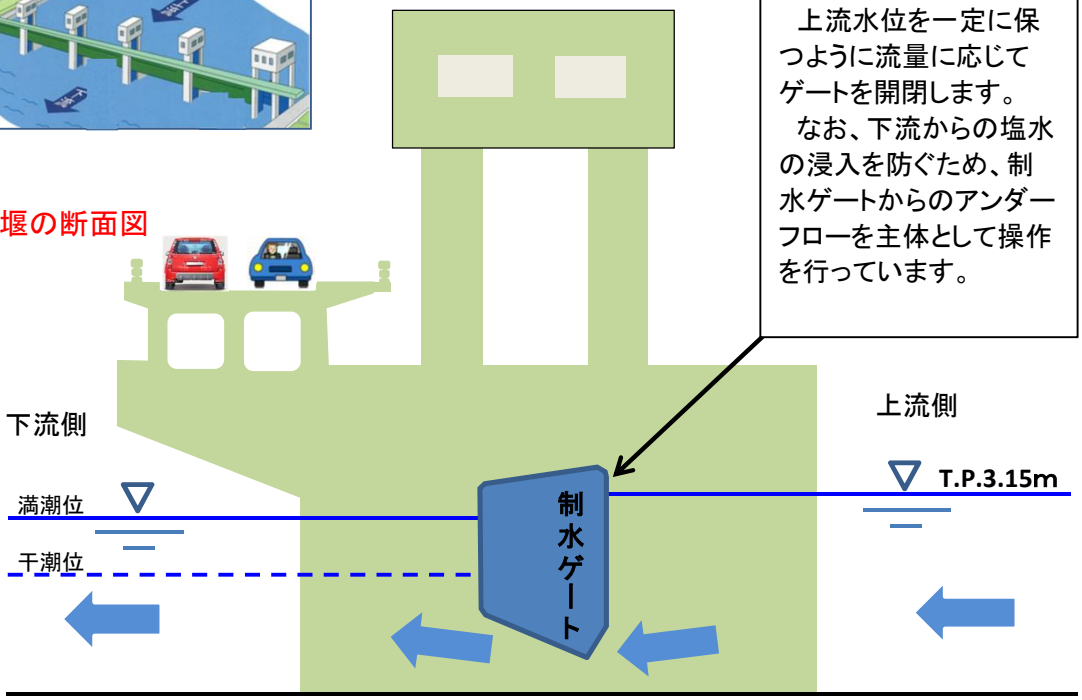
平常時のゲート状態
（アンダーフローの模式図）

筑後大堰（イラスト）



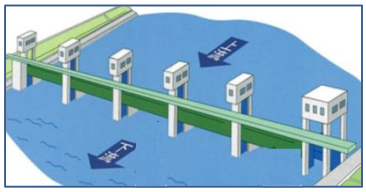
堰の断面図

上流水位を一定に保つように流量に応じてゲートを開閉します。
なお、下流からの塩水の浸入を防ぐため、制水ゲートからのアンダーフローを主体として操作を行っています。



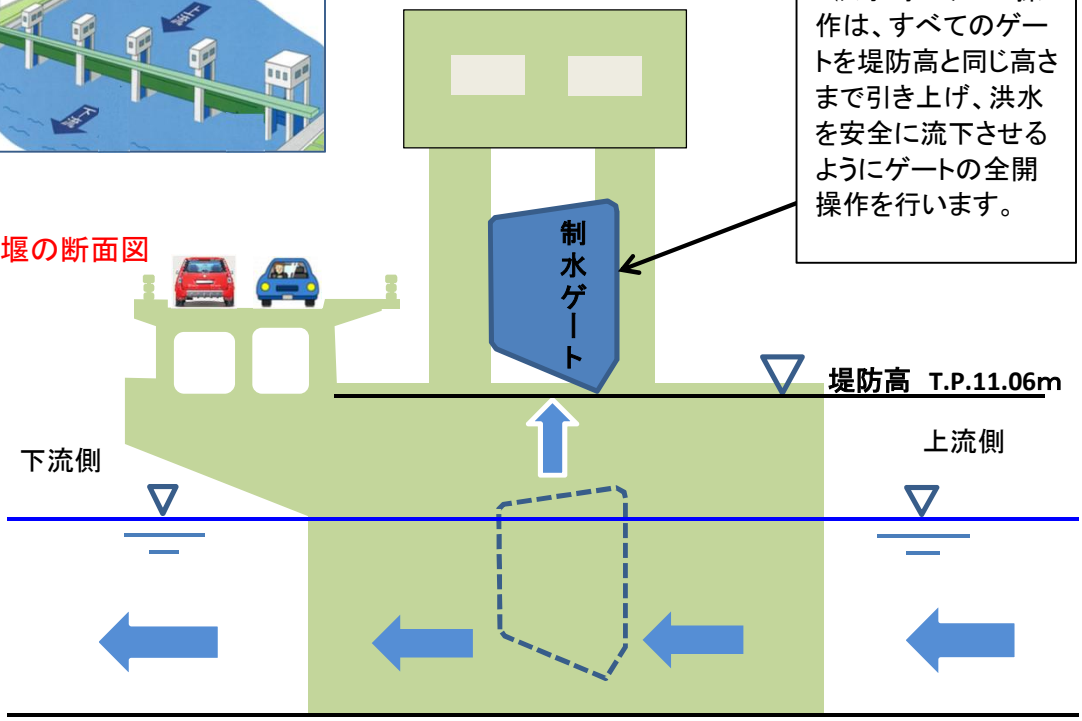
洪水時のゲート状態
（全開操作の模式図）

筑後大堰（イラスト）



堰の断面図

洪水時のゲート操作は、すべてのゲートを堤防高と同じ高さまで引き上げ、洪水を安全に流下させるようにゲートの全開操作を行います。



※ 堰の断面図は筑後大堰管理所側（左岸側）より見たものです。